

支援プログラム（児童発達支援）

事業所名

ぶどうの夷

作成日

2025年

4月

1日

法人（事業所）理念	知識より進行より愛を以て第一となす。			
支援方針	運動や、遊び、コミュニケーション訓練といったプログラムを通して、基本的動作の習得や他者との関わりを学びます。			
営業時間	学校あり 学校休業日	9時	0分から	12時
			0分まで	送迎実施の有無
	あり			
	支援内容			
健康・生活	健康状態の把握、確認を行い、怪我や体調不良の早期発見、対応を行います。必要に応じて看護師も対応をします。調理を行い、食について触れる、食べる食育を行って行きます。			
運動・感覚	ホールがある為、体を使い、沢山体を動かす活動を行います。バランスボールやサーキットトレーニングを行い、感覚や体幹についても向上を目指します。はじまりの会、終わりの会では、席に座り、正しく座る、姿勢保持の支援をします。			
認知・行動	絵カードを使用した視覚支援。学習プリントを通して、形、長さ、大きさなどについて支援をしていきます。必要に応じて、イヤーマフ、パーティションを使用し、個々の感覚特性に配慮した環境を設定します。			
言語 コミュニケーション	自分のしたい事や嫌な気持ちが伝えられる様に支援します。必要に応じて絵カードや身振りや文字を使ったコミュニケーション手段を活用します。職員やその日のメンバート楽しく、元気にコミュニケーションがとれる環境を提供します。			
人間関係 社会性	ルールの確認やSSTを取り入れ社会性が見につくように支援を行います。放デイ利用者と一緒に活動する日もある為、協力したり、仲良く活動し良好な関係を築いていきます。			
家族支援	送迎時に活動の振り返りや支援について情報共有を行います。困りごとや将来の事など必要に応じて相談できる環境を整えます。見学もできるようにしています。	移行支援	児童相談所、保育園や幼稚園や関係機関との情報共有、カンファレンスを行っていきます。必要に応じて、保育園や幼稚園、療育センターに見学を行い、支援方法の共有を行っていきます。	
地域支援・地域連携	近隣の公園や図書館など公共交通機関を利用し、ルールを守り正しい利用できるように支援をしていく。	職員の質の向上	定期的な研修参加、自立支援協議会への参加、参画をしています。他事業所、学校見学も行っていきます。	
主な行事等	調理、季節のイベント、夏の水遊び			